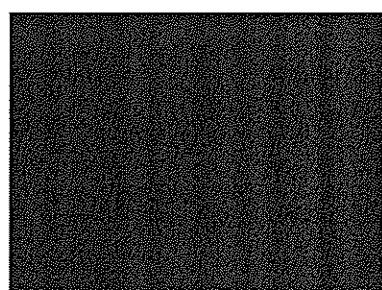
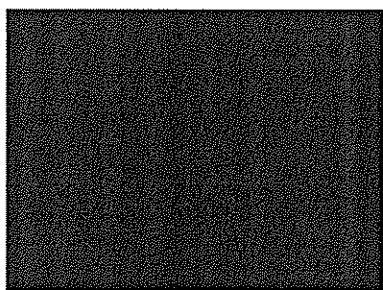
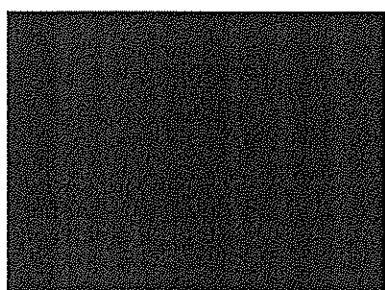


札幌市しせいかん保育園

令和5年度 事業報告書

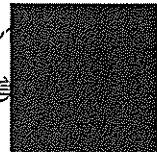


法 人 名 社会福祉法人 救世軍社会事業団

法 人 代 表 者 スティーブン・モーリス

施 設 名 札幌市しせいかん

施設 代 表 者 施設長 吉村 政美



<目次>

1. 救世軍社会福祉事業の理念	-----1
2. しせいかん保育園の理念	-----1
3. 施設概要	-----1
4. 法人理事・監事・評議委員	-----2
5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色	-----2～3
6. 聖書の学び・三園連絡会議	-----4～9
7. 入所児童数 園児動向 時間外保育・一時保育利用数	-----9～10
8. 職員に関する実績 職務分担・職員名簿 職員の資質向上・職員研修 法人三園合同行事・福利厚生	-----10～13
9. 保育課程 保育の内容 各年齢のまとめ	-----14～17
10. 年間行事報告	-----17～20
11. 食育実践	-----20
12. 施設設備に関する実績 施設設備	-----20～21
13. 保健計画実績 健康管理・事故及び負傷 新型コロナウイルス感染状況	-----21～23
14. 防災計画実績	-----23～25
15. 要望・苦情に対する対応	-----25
16. 保護者に関する実績 父母の会・懇談会・親子観劇 保育アンケート結果	-----25～26
17. 施設間と地域との交流実績	-----26

1. 救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

2. しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

3. 施設概要

種別名称	札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園
所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
電話 FAX	電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570
設置主体	札幌市
経営主体	社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者	理事長 スティーブン・モーリス
園長	吉村 政美
建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建 (保育園部分 1階一部 2階一部)
建物面積	保育園部分 1,015.15m ²
事業開始	平成16年4月1日
定員	120名 (通常保育80名 夜間保育40名)
保育実施事業	産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育
保育年齢	0歳(産休明け)～就学前
保育時間	昼型 標準時間:7～18時 延長:18～19時 短時間 :8時～16時 夜型 標準時間:10～21時 延長:8～10時、21～22時 短時間 :13時～21時
休園日	日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)

4. 法人理事・監事・評議委員

理事・監事

氏名	役職名
スティーブン・モーリス	理事長
石川一由紀	理事
高澤眞智子	理事
細貝順子	理事
久富直樹	理事
石出道雄	理事
伊吹正典	理事
福中千代	理事
繁田勝男	監事
内田肇	監事

評議員

氏名	
西村保	評議員
寺澤勇	評議員
梅田久恵	評議員
秋山智久	評議員
堀千鶴子	評議員
黒澤百合子	評議員
島田裕司	評議員
綱島実	評議員
中島美和	評議員

5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色

<保育の方針>

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設(資生館小学校、星友館夜間中学校、ミニ児童会館、しせいかん保育園)の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していく場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通し、自然と

のかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしつかりますんでいけるよう育てていきたい。

<保育目標>

1. 心身ともに元気な子ども

- ・ 規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
- ・ くつろいだ雰囲気で子どもの様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
- ・ 全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。

2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども

- ・ 積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とのかかわり合いを学ぶ。

3. 自分のことは自分でする子ども

- ・ 基本的生活習慣を身につける。

<保育園の特色>

平成16年に札幌都心部にあった小学校統合にともない、資生館小学校を基幹とした子ども関連複合施設の設立がなされ、ここに保育園部門として夜間保育を含む乳幼児120名定員で開園する。

前身は豊水保育所であったが、指定管理者の指定を受け保育業務を行っている。入園児は地域に住む子どもばかりでなく、勤務先が園の近くにあるということで、地下鉄・電車等で遠方から通園してくる子どももいる。保護者の勤務時間が年々長くなり、延長保育を利用する家庭が増えている。

夜間保育は、美容師・デパート・飲食店などのサービス業の家庭の利用がある。園の周りは繁華街で、子どもの遊びに適した場所が少ない。そのような中でも、日々の散歩や交通機関を利用して自然の中で遊ぶことを工夫している。

子ども関連複合施設の利点として、乳幼児期から小学校期までの子育ての見通しをもつことができる。年間を通して、小学校・夜間中学校・ミニ児童会館・保育園の交流が行われている。異年齢の交流、特に年長児は小学生との交流の積み重ねによって、次への見通しを持つことができ、良い経験となっている。保護者にとっても、多彩な年齢の子どもの活動を目にすることで、年齢ごとの子どもの育ちを実感できている。

保育士も子どもたちと一緒に交流に参加することで、日常と違う角度から子どもたちを見ることができ、そのことが保育に活かされるようになってきた。また、教員や指導員と話し合うことで、子どもの育ちの学びが広がったり、保護者へのアドバイスにも参考になっている。

6. 聖書の学び・三園連絡会議

<聖書の学び>

■毎週火曜日に4歳児クラスと5歳児クラスが聖書と賛美の学び

■毎月第3木曜日に職員が聖書と賛美の学び

月	賛 美 (上段:こども 下段:職員)	聖書のことば (上段:こども 下段:職員)
4 月	ハレルヤ	「子供たちをわたしのところに来させなさい。」 (マルコによる福音書 10章14節)
	ハレルヤ	「子供たちをわたしのところに来させなさい。」 (マルコによる福音書 10章14節)
5 月	ハレルヤさんびせよ	「主よ、お話しください。僕は聞いております。」 (サムエル記上3章9節)
	ハレルヤさんびせよ	「主よ、お話しください。僕は聞いております。」 (サムエル記上3章9節)
6 月	ありがとう	「主はわたしたちを造られた。」 (詩編 100篇3節)
	ありがとう	「主はわたしたちを造られた。」 (詩編 100篇3節)
7 月	そらのとりは	「主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。」 (詩編 5編4節)
	そらのとりは	「主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。」 (詩編 5編4節)
8 月	イエスによりわれらは一つ	「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。」 (創世記 9章13節)
	イエスによりわれらは一つ	「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。」 (創世記 9章13節)
9 月	主はすばらしい	人はパンだけで生きるものではない。 (レカによる福音書 4章4節)
	主はすばらしい	人はパンだけで生きるものではない。 (レカによる福音書 4章4節)

10 月	全地よ 叫べ	「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」 (ヨハネによる福音書 10 章 16 節)
	全地よ 叫べ	「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」 (ヨハネによる福音書 10 章 16 節)
11 月	主われを愛す	「地はお造りになったものに満ちている。」 (詩編 104 編 24 節)
	主われを愛す	「地はお造りになったものに満ちている。」 (詩編 104 編 24 節)
12 月	うれしい うれしい	「ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。」 (イザヤ書9章 5 節)
	うれしい うれしい	「ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。」 (イザヤ書9章 5 節)
1 月	いつしょにうたおう	「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」 (ヨハネによる福音書 15 章 5 節)
	いつしょにうたおう	「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」 (ヨハネによる福音書 15 章 5 節)
2 月	いつしょにうたおう	「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 (ローマの信徒への手紙 12 章 15 節)
	いつしょにうたおう	「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 (ローマの信徒への手紙 12 章 15 節)
3 月	いつしょにうたおう	「主よ、あなたの道をお教えください。」 (詩編 86 編 11 節)
	いつしょにうたおう	「主よ、あなたの道をお教えください。」 (詩編 86 編 11 節)

※職員会議は、日中におこないました。

会議の前には御言葉を配布し、聖歌・聖句の確認をしてから始めました。

◆ 三園連絡会議

月日	賛美と聖書	議題
4月 22 日(土)	賛美 66番 聖書 エジプト記 2章 3節 [REDACTED]社会部長 リモート参加	吉村新園長を迎えて今年度の三園連絡会が始まる。 <ul style="list-style-type: none"> ・菊水上町…認定こども園移行。1号認定は8名 ・桑園…3月の苦情を受けて、その対応として年長児のクラス担任を変更する。 今後、保護者との信頼関係作りを見直し取り戻していく。71名と定員割れのスタートとなる。 ・しせいかん…給食室の調理員の後任が決まるまで[REDACTED]さんにお願いする。 R3年度繰越金が30%超えたので各種補助金が50%減免になると札幌市から通知が来る。今後、このような事にならないように運営を考えていく。 ・連隊長より、全国における不適切保育について報告。 ・会計事務所[REDACTED]さんは(定年と事務所縮小の為)今年度決算が終了するまでとなる。後任は法人[REDACTED]さんの紹介での方向で考える。 ・お泊り保育について(深夜勤務手当等について)
5月 17 日(水)	賛美56番 聖書 ヨハネによる福音書 1章 5節 [REDACTED]社会部長 リモート参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化について…札幌市より登降園システムと保育事務の軽減化のための導入に対し補助金が出るため、菊水上町は導入を検討している。今後、参考資料をもとに情報を集め2園の導入も考えて行く ・携帯電話・ガラ携帯からスマホへ移行 ・65歳以上の採用について(無期労働契約) ・しせいかん…チームコンベクション工事を進めている。 ホームページ今月中に完成予定。 ・菊水上町…2歳児熱性痙攣を起こし救急車を呼ぶが無事回復。 ・桑園…常勤が少ないためシフトを回すのが難しく、保育士を募集しているが決まらない。 ・令和6年度に向けて、認定こども園への移行のための手続きを始める。 ・園児がホールの扉にスライディングした際、扉が外れ園庭側に倒れ窓ガラスが割れ修善をする。園児の怪我はなし。
6月 20 日(火)	[REDACTED]社会部長 リモート参加	<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証書が必要と緊急連絡先への変更について ・三園主任交流を実施。今後事務員交流も行う ・菊水上町…新事業のたんぽっぽ広場に1家庭が参加。 外壁張替え工事終了。

		<ul style="list-style-type: none"> ・しせいかん…見学者、一時保育等の入園希望の問い合わせが増えているので受け入れをしていく。調理員の定年が近づいているのでパートを募集していく。 ・桑園…人材確保の為派遣会社と契約。定員割れが続いているため定員数を減らすことも視野に入れ考えて行く。
7月10日(月)	<p>■社会部長 リモート参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌で行われる保育部会について確認。 ・桑園…絵本部屋に園児が入室したことに気付かず鍵を閉めてしまう事故が発生。直ちに職員と検証し対策を話し確認する。未来局に周知、解決策を報告し保護者にも説明と謝罪文を配布し理解をしていただく。 ・菊水上町…超勤額を減少するための対策を思案中。合宿時の超勤は深夜勤務手当以外は、代休と時間休で対応していく。 ・しせいかん…今月より栄養士を採用。今後、給食室と月1で会議を行っていく。児童相談所管轄の案件が2件。今後も児童相談所と連携を密に対応していく。
8月8日(火) ～9日(水)	<p>賛美 66 聖書コリスト への手紙 1章 27節 ・保育部会・ ■社会部長 ■ ■ ■ ■</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・礼拝・各施設現状報告。 ・子どもが減少していく現状、経営の再建と今後の方向性について。 ・菊水上町より認定こども園についての状況報告 ・育成・保育を担う人材育成、人材確保について。 ・他いろいろな情報交換と交流が出来た部会となる。
10月2日(月)	<p>■社会部長 リモート参加 評議員 ■さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員 ■さんとの顔合わせ。 ・身元保証書は緊急連絡先に変更。 ・最低賃金の変更に伴い保育士上限1,000円をどうしていくか。 ・菊水上町…保護者からの油性マジックに関する質問を受けて水性マジックも使用する対応をして理解してもらう。 ・桑園…夕方の保育が回らないため奈緒美チャプレンに週3日お手伝いをお願いする。3月末まで ・しせいかん…2歳児担任の言動について匿名で投書あり、園だより、掲示で謝罪と対応を知らせる。
11月18日(土)	<p>賛美 45番 聖書 ヨハネによる福音書 15章 10節</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から会計事務について・法人紹介かさくら総合会計のどちらかに検討。 ・ICT導入についての確認。

	<p>■社会部長来札 ■事務長 リモート参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3園クリスマス会について(内容を検討していく) ・就業規則:給与、無期労働契約への転換の文言について確認し合う。 ・各園状況 ・桑園…経営的に厳しく財政面について本當に相談させてもらっている。夕方に保育士が足りないため奈緒美チャプレンに手伝いをしてもらう。 ・菊水上町…退職者希望があり新年度は新採用を考えていく。温水用のボイラ一交換するため見積を取ってもらう。 ・しせいかん…郵貯の引き落とし手続きを保護者に依頼している。 児童管轄の IQ53 保護者がいる。危機管理が難しいので命の危険が伴う場合があるので注意が必要。
1月 22 日(月)	<p>賛美 テーマコーラス「世代から世代へ」 聖書 ヨハネの手紙1 3 章 21～24 節 ■社会部長 ■事務長 リモート参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市指導監査の報告 指導は各園なし。 ・月次報告書について:各園の会計事務所訪問の中で確認されている内容等を把握していくため本當に提出する。 ・2月 4 日司令官夫妻来札各園回る。 ・各園状況 ・桑園…運営について本當より借り入れをして運営。返済方法も考えていく。 ・しせいかん…正職・臨時職員を募集中。 2階保育室の工事と 6 台のエアコンが設置も終了 ・菊水上町…保育士 1 名、病休に入る。
2月 26 日(月)	<p>■社会部長 ■事務長 リモート参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各園状況 ・桑園…1号認定の状況もう少し増やしていく経営努力が必要。原因を探る。 ・菊水上町…うえぶさくら勉強会。保護者打刻と保育士事務入力作業を進めていく。 ・しせいかん…保育士不足で主任がフリーになれない状況のため、保育士募集をしているが厳しい状況。100名以上の園児確保が難しため定員数減問題の取り組みも視野に入れて行く。65歳定年を今後どうしていくか考えて行く。
3月 25 日(月)	<p>菊水上町保育園にて ■統括 3園園長参加</p>	<p>各園状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑園…定員割れでスタート。いかに切り詰めしていくか。1号を増やしていくいく、内部努力をいかにしていくか考える。定員数を下げる為、札幌市に話を聞く前にデーターを作りを提示していくことが必要。 ・菊水上町…新年度は定員割れでスタート。超勤を軽減するような働き方を検

		<p>討して対応する。</p> <p>・しせいかん…4月は92名と定員割れだが、入園希望には直ぐに対応していく。4歳児自閉症の障がい児加配の手続をする。4月からは2名体制となる。</p> <p>・■さんより2次補正、資金収支、活動計画について各園の状況を確認してもらう。</p>
--	--	---

今年度は保育部会が札幌で行われ、運営の悩みやこれからの方針性を話し合う中で、共通の悩みがあることで様々な情報交換ができました。来年度も引き続き保育部会を継続していく事を確認し合いました。三園の連絡会では、運営状況や認定こども園移行、ICT化導入、苦情問題、人材確保等の課題について話し合つてきましたが、まだ解決できていない問題も多くありますので、連隊長・統括園長からの意見をもらい、園長同士日頃の情報交換を密にしながら、協力しながら一つ一つの課題に取り組んで行きたいと思います。

7. 入所児童数<園児動向>

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	4	20	12	20	18	21	95
5月	4	20	12	20	18	21	96
6月	4	20	12	20	18	21	96
7月	6	20	13	19	18	21	97
8月	7	20	13	19	18	21	98
9月	7	20	12	19	18	21	97
10月	8	20	13	19	18	21	99
11月	8	19	13	19	18	21	99
12月	9	19	14	19	18	21	102
1月	9	20	14	19	18	21	101
2月	9	20	15	19	18	21	102
3月	9	20	15	19	18	21	102
計	84	238	158	231	216	252	1,184

<時間外保育・一時保育利用数>

月	昼型時間外	夜型時間外	時間外合計	一時保育
4月	233	8	241	0
5月	268	9	277	0
6月	318	12	330	4
7月	247	17	264	1

8月	240	17	257	2
9月	268	21	289	3
10月	239	12	251	1
11月	247	15	262	8
12月	266	14	280	7
1月	208	16	224	1
2月	305	17	322	4
3月	320	19	339	0
計	3,159	177	3,336	31

8. 職員に関する実績

<職務分担・職員名簿>

職種	職務分担	氏名
園長	経営管理、運営管理、法人関係、役所関係、業者関係、園内庶務一般、保育指導、父母の会補助	吉村
主任保育士	園長・担任保育士との連絡調整、保育の指導・育成、遊具および備品の安全点検と整理整頓、小学校との連携、勤務体制の確認、保育関係書類等の確認、副主任保育士と連携した保育等の把握	(兼任)
保育士	5歳児(かもしか組)クラス運営:園児 21 名	
	4歳児(あひる組)クラス運営:園児 18 名	
	3歳児(ひつじ組)クラス運営:園児 19 名	
	2歳児(きりん組)クラス運営:園児 15 名	
	1歳児(うさぎ組)クラス運営:園児 20 名	
	0歳児(ぺんぎん組)クラス運営:園児9名	
	夜間保育	
	幼児フリー	
	乳児フリー	
栄養士	献立調整及び調理、検食実施・評価等の栄養管理、調理・調理指導、配膳等の作業管理、購入計画・発注・検収等の食材管理、設備・料理器具等の保守・管理、業務分担・食材・衣類・給食室の衛生管理・検便実施・従事者の健康・労働安全・その他、食育指導、食育推進に関する業務	
調理員	給食実務全体の作業及び管理、献立確認、材料の発注受扱、保存食採取、調理・配膳、食器洗浄・消毒・保管、調理室	

	清掃、食品及び備品の在庫管理、食材・衣類・給食室の衛生管理・検便実施・その他作業等の確認、保育士との連携	
用務員	園内清掃	[REDACTED]
事務員	園内庶務一般	[REDACTED]
嘱託職員	法人理念の指導、園児への情操教育、三園連絡会への出席と助言	[REDACTED]
嘱託医	園児健康診断・歯科健診	[REDACTED] [REDACTED]

3月園児数合計…102名 権員数合計…29名(嘱託含む)

<職員資質向上・職員研修>

(1)園外研修報告

日付	研修名	主催	参加者
5/13	Z世代の採用、育成のための3つのポイント	私保連	[REDACTED]
6/12	SDGI インクルーシブルな環境づくり	私保連	[REDACTED]
7/13	自閉症スペクトラム障害の初期発達及び保護者支援について	私保連	[REDACTED] [REDACTED]
7/30	子育て家庭と子どもの困り感を理解する	私保連	[REDACTED]
8/30	救急法セミナー	札幌市防災協会	[REDACTED]
9/21	子どもの健康とメンタルヘルス	私保連	[REDACTED] [REDACTED]
10/10.20	気になる子どもの発達支援について	私保連	[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
10/27	インクルーシブルな保育で共生社会の担い手を育む	私保連	[REDACTED] [REDACTED]
10/28	保育士の為の保護者支援～みんなが元気になるような支援を考える	私保連	[REDACTED]
10/28	今後の感染症への備え	私保連	[REDACTED]
11/6	保育が変わる子どもの見方	私保連	[REDACTED]
11/28	今こそ知りたい虐待の基礎	中央区要保護児童対策協議会	[REDACTED]
1/11	やってみたい子育て支援の具体例	私保連	[REDACTED] [REDACTED]
1/20	幼児児童期のネットゲームの依存の予防と対策	私保連	[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
1/27	やってみたい子育て支援の具体例	私保連	[REDACTED]
1/29	重大事故を防ぐ園づくり	私保連	[REDACTED]

キャリアアップ研修（北海道保育協議会）		
7/26	食育・アレルギー	[REDACTED]

9/21	乳児保育	[REDACTED]
11/10	保健衛生・安全対策	[REDACTED]
12/6	保護者支援・子育て支援	[REDACTED]

(2)園内研修報告

日付	内容	日付	内容
4/27	前年度の反省、係決め	10/13	保健衛生・安全対策係から産撃・感染症について
5/10	保育中におきる事故を防ぐために	11/8	夜間保育時の避難の仕方について
6/8	防災について	12/8	年長の活動計画・現在の状況について
7月	行っていません(研修と重なり8月に行う)	1/10	食育について
8/9	マネジメント研修報告・討論 平和について	2/7	保護者支援について
9/8	運動会準備	3月	卒園式準備

(3)職員会議等実績

月	職員会議	学習会	三園連絡会	期の総括	指導監査	法人監査	備考
4月	20日	27日	22日				
5月	25日	10日	15日				
6月	15日	8日	20日				
7月	20日	8月9日	10日	22日		8日	[REDACTED]財務部長
8月	17日	9日	保育部会 8/8~9				
9月	13日	8日					
10月	18日	18日	2日				
11月	16日	8日	18日			18日	[REDACTED]社会福祉部長
12月	14日	13日		2日	26日		
1月	25日	10日	22日				
2月	16日	7日	26日				
3月	14日	卒園式準備	25日	23日			

<法人三園合同行事>

救世軍リーダー研修	6/6～7	救世軍中堅研修	6/11	中堅フォローアップ研修	11/11
三園主任交流会	6/14	事務員交流会	6/23		
救世軍全国施設長会議	9/5～7				
三園新年交流会	1/12				

<福利厚生>

- ・ 職員健康診断
- ・ 被服費支給
- ・ インフルエンザ予防接種補助

9. 保育課程 <保育の内容>

保育理念	秋世帯の主義及び精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が心も身体も健全に成長するために危険と共に歩む共同体を作ります。			保育目標	・心身ともに元気な子ども ・自分の思いを表現し相手の気持ちを察いやる子ども ・自分ことは自分でする子ども		
保育方針	乳幼児期は人間形成において基礎となるおむすび重視の時期です。両親との連携を大切にして元気で明るい子に育てていへ。			保育時間	晨更	7:00-18:00(19:00-19:30時間外)	
				夜更	19:00-時間外11:00-21:00(22:00-23:00時間外)	・園外保育、離乳食、クリスマス会、直射日光、お泊り会、運動会、クリスマス会、果物狩り、秋祭り、秋祭り、花火、本屋式	
子どもの 経験目標	0歳児	△在りのまを覚え、快・不快の感覚を育てる。	1歳児	安心できる保育士との関係の中で自分の想いを出す。	2歳児	自他の壮大から適度に向かいで、自分を友達の存在がわかる。	
	3歳児	生活習慣が身につき、友達と遊ぶ楽しさが広がる。	4歳児	仲間や保育士と遊ぶことが楽しくなり、簡単なルールを守って遊ぶことができるようになる。	5歳児	生活や遊びの中で意欲的に仲間と共通の環境に向かう。達成感を喜び合う。	
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
発達	生命の保持	一人ひとりの健康状態を把握し、生活リズムを整えていく。	安心できる保育者と信頼関係を育み、子どもの中の心を豊かにする。	生活や遊びを通じて自己を育てる。	基本的生活習慣の自立に向けて援助する。	身の回りのことなど自分でできることは自分でできる。	基本的な生活習慣を身につける。
	情熱の安定	子どもの感情などに応答があれあいや首尾一貫性を行い、安心感を培てるよう教する。	保育士との関わりの中で、安心感を持ち自分の気持ちを出していく。	保育士に気持ちを受け止めてもらいながら安心して過ごす。	保育士との関わりの中で自分の気持ちをしっかりと出す。	生活や遊びを通じて友達の中で自分を發揮していく。	保育士や友達に受け止めながら自己肯定感を育っていく。
教育	社会	快・不快を感じられる心地よい環境づくり。	「自分で」の気持ちを育て尊重する。常識を自分でしようとし、快・不快を感じていく。	保育士の援助を受けながら自分のやり方のことをしようとしする。	生活の中で自分の身の回りのことをする。	自分の身体に用心を施し、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。	危険な場所・物・行動を防ぐり、安全に気をつけた遊びや行動をする。
	人間関係	担任保育士等との安心できる関係づくり。	身近な大人や友達に安心を育め、自信を持たせたり関わらうとする。	保育士の援助により安心に開心を持ち、一緒に遊ぶ。	ごっこ遊びなどを通じて簡単なルールがわかるようになり、友達とも楽しむ。	友達と共同で道具を使ったり、相手のことを理解しながら行動する。	生活・遊びを通して、友達を協力する大切さを知る。
	環境	安心できる人の及び物的環境を整えていく。	好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。	身近な自然に触れながら、好奇心や探究心が生まれてくる。	生活や遊びの中で身近な事物に開心を持ち、色、形、量、形などの違いを知る。	身近な物や植物は興味を持って開けたり、外れたがためにしたりして手で見て遊ぶ。	身近な環境に自分から開けたり、その性質や存在に興味・開心を持つ。
	言葉	豊かな言語掛けや歌声・キンシップ母語を通して言語が育まれる。	片言や一言文、指差し・身振りなどで自分の意志を伝えるようとする。	生活や遊びを通して、友達との言葉でのやりとりを楽しむ。	基本的な言葉を楽しむ。自分の意志を言葉や声で伝えようとする。	基本などに興味を持ち、イメージを広げながら友達との会話を楽しむ。	自分の感じたことややめたことを相手にわかるやすいように話す。
	表現	外気や水・絵等に触れ全身で感覚を楽しむ	保育士と一緒に取ったり手遊びをしたりリズムをする等、身体を動かして遊ぶ。	自分の力のイメージを膨らませて、保育士や友達と楽しんで遊ぶ。	いろいろな素材や用具に親しみ、がんばったりリズムをする。	枯れ、保育所がすなど、自由に表現することを楽しむと共に楽しむ。	自分のイメージしたことを動きや音楽、絵などで表現する。
企画	食を育む力の基盤	食べる事に興味を持つ。自分で食べようとする気持ちを育てる。	食べる事に興味を持つ。自分で選択的に食べようとする。自分で食べる事を大事にする。	食材に興味を持ち、意識的に食べる。	友達と一緒に食べて食事をする。	食事の大切さがわかる。楽しく食事をする。	健康的な生活のリズムを身につけ、楽しくて食事をする。
健康支授		・毎日の視診による健診状態と筛查状態の把握 ・内科健診、音程検査 ・歯窩との連携			小学校との連携	・小学校との交換 ・小学校就学への移行 ・園児への小学生的な食事 ・保育園児医療費剪除の送付	
環境・衛生管理		・施設内外の設備・用具等の消毒 ・安全管観、点検 ・玩具等の消毒、点検 ・定期検査(毎2回)			黄色ある 保育	・小学校との交換 ・水、砂、泥遊びや散歩などの戸外遊び ・掃除、清掃 ・手洗い用具・器具の設置の検査を実施	
安全対策・事故防止		・各月の定期点検(火災・追跡) ・消防訓練(半2回) ・消防・消火器類の実習 ・巡回安全点検			自己警笛	・自己警笛の作成 ・保育園評議会・指定管理評議会にて	
保護者・地域への支援		・育儿相談支援 ・職員休憩、実習生、がんばりの受け入れ ・子育てのための情報提供			新規計画	・園外(札幌市、私保連、その他)研修への参加 ・園内研修の実施	
地域への行事参加		・高齢者訪問時間 ・地域子育て事業との意見交流					

<各年齢のまとめ>

0歳児 ぺんぎん組

- 年間目標**
- ・子ども達が欲求や思いを受け止められ満たされていく中で、保育士との愛着関係を築き、安定した生活を送る。
 - ・一人ひとりが安心してすごせる環境のもとで、自分の思いを出していく。

クラスが安心できる場所となったことで担任との愛着関係ができ、思いを沢山だすようになった。探索や戸外遊びを大切にしてきた中で、子ども達の思いを代弁しやり取りを楽しむようになってきている。保育士間の話し合いや他クラスとの連携を心がけ、月齢の低い子は安心できる静かな環境での保育、月齢の高い子は1歳児クラスと交流することで様々な刺激を受けることができた。

1歳児 うさぎ組

- 年間目標**
- ・一人ひとりの生理的欲求や自我のふくらみを大切にしながら、子ども達が安心して自分の子持ちを表現できるようにしていく。

少人数での散歩を繰り返していく中で、園周辺の草花など自然に触れ合う機会ができた。子ども達が生活しやすいよう、環境を整えていった。繰り返し同じ生活をすることで友達とのかかわりが増えたことで、着替えなど自分でやる姿が出てきている。自分でやりたいことが増える中でかみつく、ひっかくなどがみられたので保育士間の会話を密にしてきた。子ども達の姿から原因や対策を他の職員とも共有し具体的に考えて保育しているが、保護者にも理解してもらえるようこまめな会話を心がけていく。

2歳児 きりん組

- 年間目標**
- ・保育者との関わりの中で簡単な身の回りのことを自分で行う。
 - ・遊びや生活の中で友だちとのかかわりを楽しむ。

1歳児クラスでってきた生活の流れを大きく変えずに過ごしたことで、環境の変化に敏感な子も混乱なく過ごすことができた。子ども同士のかかわりが増えてくるとケンカも多くなったが、保育者が仲立ちとなり代弁していく中で、言葉でのやりとりを見守ることを意識してきた。身の回りについては自ら行う子が大半だが、まだ意識が向かない子に関しては一緒に行き習慣づけているところである。保護者とのかかわりについて保育士は、要求ばかりでなく思いを受け止め共に考えていこうことが課題である。

3歳児 ひつじ組

年間目標

- ・生活の流れに見通しを持ち、身の回りの事を自分でしようとする気持ちを育む。
- ・季節や行事を通して色々な事に興味や関心を持つ。
- ・友だちと触れ合いながら楽しさを共有したりぶつかり合いの中で思いを出したり相手の思いも知っていく。

水遊びなどの着替えを通して子どもたちが、着脱など身の回りのことをしやすい環境を考えてきた。外遊びや散歩を通して季節を感じることができるように意識して保育することができた。コロナが落ちつき、クッキングを行えるようになったことで野菜など食に興味を持つ子が増えている。友達に興味が出てくる一方でケンカも多くなり、自分の気持ちを出せなかったり切り替えられない子もいたので、丁寧に繰り返しかかわってきた。家庭とのこまめな会話を心がけてきたが担任間での情報共有が不足する部分もあったので今後の課題とする。

4歳児 あひる組

年間目標

- ・安心できる居場所のなかで友だちとのかかわりを深める。
- ・身の回り事やあそびで指先を使っていく。
- ・自分の思いを言葉にし相手の思いにも気づく中で友だちを求め、集団での遊びの楽しさをあじわう。

子ども同士のかかわりが深まってきたが強引になったり、困っているのに言い出せない子がいるので子ども達同士での話し合いをたくさん重ねてきた。話し方を伝えていく中でどうしたらよかつたのか考えられるようになってきている。身の回りの事では、特定の子以外は見通しをもって行えるようになり、行事を通して年長に憧れたり期待を膨らませる姿がある。見通しが持てなかつたり理解が難しい子は家庭とも連携し、どう対応していくのがいいかを探っていくことが課題である。

5歳児 かもしか組

年間目標

- ・友だちとのかかわりを通して主体性や協調性を身につける。
- ・友だちや異年齢のかかわりの中で思いやりの心が育つ。
- ・自分の思いや感じたことを豊かに表現する。
- ・基本的な生活習慣がわかり、自分で考えて行動する力を身につける。

身の回りの事については、毎日のリズムや雑巾がけを通して何が必要かを自分たちで考えられる子が増えていったように思う。運動会などの行事を通して友だちと本気でぶつかり合う中で、相手の気持ちに寄り添う姿が増え仲間意識が深まり、年長ならではの縫物の製作を通して物事に対し根気

強く取り組むようになってきた。小さい子と遊んだり、手伝いで世話をする中でかかわり方もうまくなり小さい子から求められることも多くなっている。突然手が出たり、相手の傷つく言葉を何度も使ってしまう子に対しては保護者と話を重ねたが専門機関との連携に繋げるまではできなかつたので課題が残る。コロナが明け、自園や滝野の合宿を行うことができ、仲間と生活を共にすることや自然の中で1日中過ごすという貴重な経験ができた。

夜間

年間目標 ・自分の思いを充分に出し保育士や友だちに受け止めてもらい安心して過ごしていく。

1歳児・5歳児の2名の登録だが1名の利用の日が多く、2名で過ごす時間は少なかったと思う。

1歳児に関しては夕方になると疲れて気持ちが崩れることが多かったので、ゆったりと過ごすことを心がけた。5歳児は夕食後すぐに帰ってしまうので、夕食時の楽しめるような会話を心がけて過ごした。はじめは人見知りをして泣くことも多かった1歳児だが、後半期は関係性もでき保育士に甘える姿が出てきた。

10. 年間行事報告

月日	行事	内容・感想
4月7日	進級お祝い会	子ども達が自ら用意する姿があり3クラスが交流できてよかったです。
4月11日	円山散策	春の自然を匂いや視覚で感じる良い機会となった。
5月24日	園医健診(全クラス)	0~5歳まで特に異常はなかった。
6月12日	父母の会総会	前年度の係からの引継ぎ・役員決め
6月16日	円山登山(4歳)	楽しみのしている子が多く、自分で準備をしていた。子ども同士で疲れている子に声を掛けたり手を引く場面があった。
6月20日	交通安全啓発	啓発運動に交通ルールを守る大切さを学んだ。
6月21日	円山登山(5歳)	桑の実を取ったり虫取りを楽しむ機会となった。
6月30日	ドドメ摘み(5歳)	子どもたちの手の届く場所にドドメがあり、ジャム作りの為に張り切る姿があった。
7月5日	円山散策(3歳)	リスに会えることを期待したり園庭にはいない大きな虫に喜んでいる子が多かった。
8月7日	七夕・お祭りごっこ (全クラス)	おみこしを担いで園周辺を練り歩き地域の人と交流したり、盆踊りとお店ごっこを楽しんだ。

8月29日	精進川園外保育（5歳）	どじょう・タニシ・魚などを子どもが捕まえようしたりとなかなか体験できない事が出来てよかったです。
9月16日	運動会（全クラス）	晴天で夏のような暑さだった。コロナ前のように全園児で競技ができ発達を見通せるような運動会ができた。
9月22日	精進川園外保育	川の中で遊ぶことが楽しく、まだ遊びたいという子が多くかった。
9月26日	円山登山（3歳）	登山の後も時間に余裕があったため、散策も行う事ができよかったです。
9月27日	円山登山（4歳）	前回より転倒する子が少なく1歩1歩しっかりと登っていて成長を感じた。
10月3日	味覚祭（全クラス）	ホールに料理される野菜などを飾っておいたのが見通しを持ってよかったです。鮭の解体を見たことで命の大切さを学んだ。
10月11日	園医健診（全クラス）	0～5歳まで特に異常はなかった。
10月11-12日	自園合宿（5歳）	初めての合宿だったが考えながら自分たちで身の回りの事をを行い、仲間と過ごす事ができた。
10月12日	乗馬（5歳）	乗馬を楽しみに山へ向かい、草を食べたりする様子を近くで見る事ができた。乗馬の後はカエル・栗を見つけたりと楽しめた。
10月18日	円山散策（4歳）	登りながらお地蔵さんをみて会話を楽しんでいた。初めて地下鉄で行った為、疲れて手を引いてもらしながら歩く子もいた。
10月24日	円山登山（5歳）	初めて地下鉄を利用し登山を行った。ぬかるんでいたが軍手をしていったことが対策としてよかったです。
10月27日	乱拍子（5歳）	太鼓の音や獅子舞を怖がる子もいたが、わらべうたや日本の伝統文化に触れる良い機会となった。
10月31日	円山登山（5歳）	前回に比べて紅葉が進んでおり、会話を楽しみながら登った。子ども達も回を重ね、ペースをつかめてきていく。
11月9日	歯科検診（全クラス）	虫歯の多い子が各クラス2名ほどいたので保護者に歯医者に行くようすすめた。
11月16日	園医健診（全クラス）	0～5歳まで特に異常はなかった。
11月17日	こぶし座（4・5歳）	5歳が太鼓をたたく事を楽しみにしており他クラスも見に来た際に憧れのまなざしで見ていた。日本の伝統文化

		に触れことができよかったです。
11月22日	交通安全教室 (3・4・5歳)	興味を示して話をよく聞いていた。交通ルールを改めて知る機会となった。
12月21日	クリスマス会 (全クラス)	年長のキャンドルサービスをみたり歌を歌ったりしてクリスマスを祝う事ができた。保育士の出し物があり、みんなが楽しめる会となった。
12月27日	もちつき	なかなか家庭で行う事のない餅つきを行う事ができた。出来上がった餅で鏡餅を作った。
1月17-18日	滝野合宿	雪山に駆け上ったり、尻滑りをしたりと全身を使って遊ぶ事ができた。
1月19日	門付け (全クラス)	コロナが明け久しぶりの獅子舞だったが伝統行事に興味関心を持ち、印象深い行事になっていた。
2月1日	節分 (全クラス)	年長は自分たちが鬼役になるのを楽しみにし、他児は季節行事に興味関心を持つ事ができた。
2月21日	氷像制作見学 (4, 5歳)	大きな氷の塊からどんどん形になっていくのを近くで見る事ができたり、玄関に飾られた氷を触るなど貴重な体験ができた。
3月1日	ひなまつり	0,1,2歳児はホールでひな人形を見ながら歌を歌ったり、ペーパーサートをみた。幼児は自分たちで作ったお雛様を模造紙に貼って完成させたり、ひなまつりの歌や紙芝居を見た。おやつは、クリームと苺を乗せたホットケーキを食べた。
3月1日	お茶会 (5歳児)	職員に抹茶を立ててもらい、干菓子と一緒にいただき茶道を体験した。
3月16日	卒園式 (4・5歳児)	年長児21人全員が参加し、その保護者と4歳児も一緒に卒園を祝った。自信に満ちた表情で1部は証書を受け取り、二部はいつも通りの姿でいきいきとリズムを行っていた。
3月25日	進級・お別れ会	全園児が集まることができた。園長からお別れする子の名前を聞くと寂しそうにしている子もいたが、どの子も進級の喜びを感じ、あひる組は年長から雑巾をプレゼントされ春から頑張ろうという期待を持つことができた。
3月28日	円山動物園 (4歳)	地下鉄に乗り進級のお祝いで出かけた。4つのチームに分かれ、それぞれ見たい動物をみることができ帰園後の弁当は部屋で喜んで食べていた。

1.1. 食育実践

日付	クラス	目的	感想
R5年4月18、 19日	5歳児	季節に芽吹く山菜を知り、春の食材の味を知る	
メニュー		レシピ	
竹の子の炊き込みご飯 竹の子の煮物		竹の子の皮をむき給食室に持参し 具材を炊飯器に入れる。 竹の子・人参・油揚げを切って鍋に入れ煮込む。	竹の子に触れたり見たりするのが初めての子が多く、匂いをかんだりしていた。炊き立てのご飯は人気で何度もおかわりをする子が多かった。 煮物も味が染みていて、竹の子が美味しいと言ってすぐになくなった。

日付	クラス	目的	感想
R5年5月10日	5歳児	季節に芽吹く山菜を知り、春の食材の味を知る	
メニュー		レシピ	自分たちで積んできたヨモギを天ぷらにしたことで好き嫌いのある子も食べていた。旬の味覚を味わうことができ良い機会だった。
ヨモギの天ぷら		ヨモギを洗い衣をつけ油で揚げきつね色になつたら取り出し塩を振る。	

日付	クラス	目的	感想
R5年6月30日	5歳児	歌にも出てくる身近な木の実を収穫し調理することで食べられることを知る。	歌の通り、食べると舌が黒くなるのをお互いに見せ合ったりしてたのしんでいた。パンにたっぷりとつけて美味しいそうにたくさん食べている子が多かった。
メニュー		レシピ	
どどめジャム		砂糖とレモン汁を加え少しの水で煮詰める。	

日付	クラス	目的	感想
R5年 11月15日	4歳児	給食で野菜を残すことの多いクラスなので出来立ての野菜料理を食べることで食に興味を持ってもらう。	目の前のホットプレートで野菜を炒めると、匂いを感じたり食欲が出てきて、何度もおかわりをする子がいた。もっと食べたかったという子もいたので、また行っていきたい。
メニュー		レシピ	
シラス入り野菜炒め		キャベツ・人参をごま油で炒め、最後にシラスを加えて完成。	

<総評>

- ・自分たちで収穫した物をクッキングしたり、目の前で調理されることで食に興味を持つきっかけとなった。
- ・身近なものが調理されたり隣のクラスなどへ、おそらく分けをする事で行事への見通しを持つ事ができた。

1.2. 施設設備に関する実績

<施設設備>

- ・1歳児保育室エアコンスイッチ修繕(6月)
- ・事務室電気温水器交換工事(7月)
- ・玄関照明器具修繕(8月)

- ・ Wi-Fi 設置工事(8月～1月)
- ・ スチームコンベクションオーブン設置工事(9月)
- ・ 給食室シンク水漏れ修理(9月)
- ・ 2階保育室エアコン設置工事(12月)
- ・ 1階男子トイレバルブ修繕工事(12月)
- ・ 2階ラウンジ照明器具修繕工事(1月)

13. 保健計画実績

<健康管理>

内科医 :

園児建診 5月 25 日

園児建診 11月 16 日

歯科医 :

歯科建診 11月 24 日

<事故及び負傷>

4月 8日 (5歳児)

おやつ後、布団を引きずりながら走った時に転倒し、左足の甲が痛いと泣く。

念のため整形外科を受診しレントゲンをとる。すると打撲との診断を受けるが薬はない。

4月 10日 (1歳児)

人工芝で探索していた際に転倒し、鼻と指を擦りむく。

傷口が赤くなっていたため皮膚科を受診し薬が処方される。

4月 27日 (5歳児)

ホールで雑巾がけをしていた際に手が滑り、床に口をぶつける。前歯と歯茎から出血していたため、歯科を受診し消毒のみの処置だった。

5月 10日 (4歳児)

食後のテーブルを片付けようとした際に転倒し、顎をテーブルにぶつけ舌を噛み出血しなかなか止まらないため歯科を受診。止血していたので消毒のみの処置だった。

5月 17日 (5歳児)

人工芝で転倒し顎と右手小指を痛がっていたため、整形を受診すると指の関節に異常があるかもしれないということで、湿布を貰い1週間後に再受診し3週間後に完治した。

6月 9日 (1歳児)

午睡明け、衣類袋を引きずりながら歩いて転び、唇を床にぶつけた。

歯科を受診し消毒をし2日後には完治した。

7月 5日 (1歳児)

園庭であそんでいた際にどこかに引っ掛けたのか右手中指から出血していた。

傷が深めだったので念のため皮膚科を受診し薬を処方してもらった。

7月 12日 (4歳児)

立っていた状態から後ろを振り向いた際に、右ひじが抜けた。

整形外科を受診し、すぐに完治した。

8月 29日 (1歳児)

椅子に上に立ち上がった際にバランスを崩して転び、顎をテーブルにぶつけ唇を噛み歯茎から出血する。

歯科を受診し消毒をしてもらった。

8月 30日 (4歳児)

人工芝で追いかっこをしていた際に転倒し右ひざをぶつける。

腫れていたため、整形を受診したが打撲と診断された。

9月 9日 (1歳児)

午睡明けに廊下を歩いていた際にバランスを崩して転倒し顔面をぶつける。

口から出血していたので歯科を受診し消毒をしてもらった。

10月 3日 (5歳児)

延長の時間に手を洗いに流し台に行った際台を蹴り、右足の親指が切れて出血した。

皮膚科を受診し薬を処方された。

10月 4日 (4歳児)

ウッドデッキに座り自分で左耳に小石を入れて取れなくなった。耳鼻科を受診し取り除いてもらった。

10月 6日 (3歳児)

部屋で遊んでいた際に段差に足をぶつけ右足の親指から出血した。皮膚科を受診し薬を処方された。

10月 13日 (3歳)

午睡時人数確認を怠った為、1名がホールにいない事が午睡明けまでわからなかつた。

幸い本児一人で布団を引き部屋で寝ていたため、怪我はなかつたが保護者に謝罪し二度と起こらないよう職員で午睡時の人数確認をチェックすることを徹底した。

11月 7日 (1歳児)

友だちの遊んでいた積木が欲しくてケンカをしていた際に右腕が抜けた。整形を受診し当日に完治した。

11月 20日 (1歳児)

ウレタン積み木で遊んでいた際、バランスを崩して転倒し唇を切った。歯科を受診し消毒をしてもらった。

1月17日（1歳児）

お迎えに来た保護者の足元で転び、唇を壁にぶつける。歯科を受診したが異常はなかった。

1月25日（1歳児）

箱イスを運ぼうとした時に、前のめりに箱イスごと転倒し、上唇をぶつけた。同時に、口腔内を噛んでしまい出血。歯科を受診したが異常はなかった。

2月 5日（4歳児）

保育室の入り口で出合い頭に他児と正面衝突をした。歯茎から出血した為歯科を受診し消毒をした。

2月15日（4歳児）

お医者さんごっこをしていた他児の爪が本児の目頭に当たり傷ができた。

眼科を受診したが眼球には傷が無く、目頭の傷薬を処方された。

2月21日（5歳児）

ホールで鬼ごっこをしている時に、他児とぶつかり頬に切り傷ができた。

念のため歯科を受診するが歯に異常は見られなかった。

2月26日（2歳児）

昼食後布団を出し数人でじゃれ合って遊んでいる時に、誰かの爪が左頬に当たりたてに傷ができる。形成外科を受診し、薬と遮光テープが処方された。

2月29日（2歳児）

園庭の山に登って遊んでいた際に転び、雪山に左頬を擦りむく。皮膚科を受診し薬が処方された。

3月1日（1歳児）

他児のおもちゃが欲しくて泣き、手足をバタバタさせた際に左ひじが抜けた。整形を受診し当日に完治した。

3月8日（4歳児）

食事中立ち上がりキックをしたが空振りし転倒して唇から出血した。歯科を受診し薬を塗ってもらった。

3月16日（1歳児）

園庭で手袋を振り回し、他児を叩いたことで左手指を噛まれた。皮膚科を受診し薬を処方された。

14. 防災計画実績

<自衛消防隊>

防火責任者	園長	
通報・連絡	事務員	防火責任者(園長)に連絡し、119番通報

初期消火	調理員・用務員	消火器を用いて初期消火の任にあたる
避難・誘導	全保育士	
探索・救護	園長 主任保育士・フリー保育士	残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置(必要時)
保護者への引渡し確認	各組担任保育士	必ず避難場所で確認後、保護者へ引き渡す
非常書類持出	園長 事務員	書類関係 登園表、緊急連絡網

<避難訓練>

日付	訓練内容および反省
4月18日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	ベルの音を聞き、保育士の誘導で避難する →おやつ、着替え中の時間帯だった。新入児がいたので大人が協力しホールに集まり、幼児は今までの積み重ねもあり指示を聞いて集まることができた。
5月17日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する →アナウンスと共に避難を開始する。全員が園庭で遊んでいたので避難はスムーズだった。小学校からの火事なので人工芝ではなく少しでも距離の離れた園庭の方がよかつたので次回から行っていく。
6月22日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い落ち着いて避難する →午睡明けに時間だったが、まだ寝ている子がいたのでいつもの訓練よりも時間がかかっていた。学習会で火災を学んだあとだったので、意識して行動することができた。
7月21日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する →おやつ後すぐの訓練だったので、児童クラスは園内と園庭に分かれていた。乳児クラスで大人の手が必要だったが臨機応変に児童の大人が対応できていた。
8月22日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示通りに機敏に避難する →少しづつ子ども達も達も、放送が鳴ったら避難するのが習慣化してきた。乳児クラスも児童クラスの真似をしてじっとしている子が増えた。昼食の時間という事もあり、ほとんどのクラスが室内だったので素早く集まれた。
9月28日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する →いつもより遅い時間に行ったのもあり、子どもが少なかったが遊んでいる最中の火災を想定して行うことができた。
10月25日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	夜間保育士の指示に従い避難する →夜間は2人体制なので洗濯中の大人がすぐに夜間の保育室にかけつけ、給食室の職員と共に外に避難した。警備員にも連絡し動きを事前に確認すると良かった。冬の避難についても考える良い機会となった。
11月14日 (地震・給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、安全な場所に避難する →今回は地震が起きて暫くしてから、給食室からの火災が発生するという設定だった。放送を最後まで聞かず避難を始めてしまう子もいたが、ほとんどの子がしっかりと放送を聞いてから避難ができていた。

12月13日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	放送をよく聞き落ち着いて行動する →今回は、夕方になってからの訓練だったため、辺りが暗くなっていた。そろそろお迎え時間と浮ついた気持ちの子どもたちであったが、アナウンスを聞いて、保育士と共に避難した。幼児クラスの数人が大騒ぎする場面があつたため、訓練後『先生の話をよく聞いて、静かに避難する』こと『衣類袋を持って避難する』ことを全体に話した。
1月31日 (地震・水害) 避難・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する →初めての水害による避難訓練を行った。『地震後に近くの河川から水があふれ、園内で浸水の恐れがある』という想定の訓練を行った。防寒着を身に着けて、乳児は階段付近に集まり、幼児は保育室で待機した。子ども達にも地震の後には火災だけでなく浸水も起こるという事を伝えることができた。
2月29日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	全館放送を聞き、保育士の誘導で避難する →1階の保育室1部屋だけが窓が開いていたが、避難は素早く行えていた。午睡明けの時間だったが、「できるだけ、防寒着を身に着けて避難する」のアナウンスで幼児は防寒着を着て衣類袋を持って避難する事ができた。 乳児は保育士が子どもの避難だけで手がふさがるので、何枚かをリュックに普段入れておくことを意識していく。
3月5日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、積極的に行動する →給食室が無人になった時間帯からの火災が発生という想定で行った。園児が避難すると同時に消火活動を行った。集まった園児たちは前回の動きを踏まえ衣類やジャンパーを持参して避難することができていた。

※計画では、年3回の(5・9・2月)4施設合同避難としていたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となった。

15. 要望・苦情に対する対応

年齢より幼く扱うような会話があったのを、保護者が子どもから聞いたという2歳児の保育士の言動についてご意見がありました。すぐに当事者から話を聞き、職員間で対応を話し合い共有した内容を掲示した。

16. 保護者に関する実績

<父母の会・懇談会・観劇>

父母の会 定期総会(6月 12日)

役員会……年 6 回開催。

懇談会 クラス懇談会は、各クラス年3回計画通り行うことができた。

個人懇談を行い、希望者と懇談を行った。

観劇 こぶし座や乱拍子を招き全園児が日本の伝統文化に触れる事ができた。

<保護者アンケート>

回収率 49.0%

(1)施設の利用には、満足していますか？

- ① とても良い 53.0% ② 良い 35.0% ③ 普通 12.0%
- ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(2)施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？

- ① とても良い 48.0% ② 良い 33.0% ③ 普通 12.0%
- ④ あまり良くない 7.0% ⑤ 良くない 0.0%

(3)保育園の行事について、どう思いますか？

- ① とても良い 52.0% ② 良い 30.0% ③ 普通 18.0%
- ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(4)保育園の食事(おやつ)について、どう思います？

- ① とても良い 49.0% ② 良い 33.0% ③ 普通 18.0%
- ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(5)職員(保育士)などの対応は良好ですか？

- ① とても良い 70.0% ② 良い 27.0% ③ 普通 2.0%
- ④ あまり良くない 1.0% ⑤ 良くない 0.0%

(6)保育サービス全体の評価はいかがですか？

- ① とても良い 60.0% ② 良い 30.0% ③ 普通 10.0%
- ④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

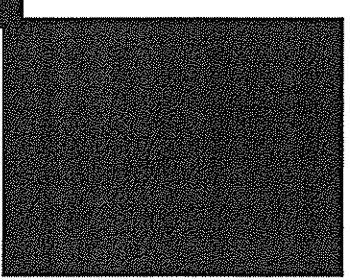
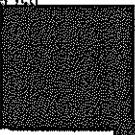
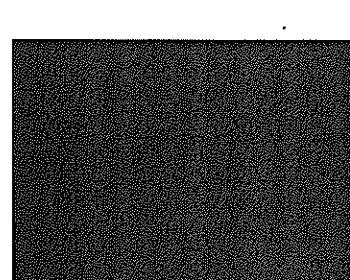
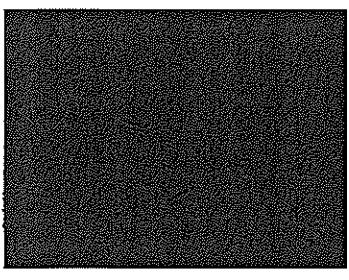
17. 施設間と地域との交流実績

6年生の職業体験を1~5歳児クラスで3日間で6名受け入れた。
ミニ児童会館の1年生を門付けに招待し、年長と交流した。

札幌市しせいかん保育園

令和 5 年度 決 算 報 告 書

法 人 名 社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者 理事長 スティーブン・モーリス
施 設 名 札幌市しせいかん保育園
施設代表者 施設長 吉村 政美



第一号第四様式（第十七条第四項関係）

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	保育事業収入	128,837,000	126,968,970	1,868,030	公定価格の引上げがあったものの夜間委託費の見込過多 夜間委託費見込み過多
	委託費収入	113,050,000	111,935,270	1,114,730	
	利用者等利用料収入	181,000	119,744	61,256	
	その他の事業収入	15,606,000	14,913,956	692,044	
	経常経費寄附金収入	84,000	84,000	0	
	経常経費寄附金収入	84,000	84,000	0	
	受取利息配当金収入	0	436	△436	
	受取利息配当金収入	0	436	△436	
	その他の収入	1,039,000	1,072,880	△33,880	
	受入研修費収入	80,000	90,000	△10,000	
事業活動による収支	利用者等外給食収入	959,000	982,880	△23,880	
	事業活動収入計(1)	129,960,000	128,126,286	1,833,714	
	人件費支出	103,897,000	105,008,949	△1,111,949	
	職員給料支出	47,179,000	47,131,176	47,824	
	職員賞与支出	16,900,000	18,201,124	△1,301,124	人事勧告等、見込み不足
	非常勤職員給与支出	25,347,000	24,759,886	587,114	
	退職給付支出	1,206,000	1,205,700	300	
	法定福利費支出	13,265,000	13,711,063	△446,063	予算時、過小計上
	事業費支出	16,284,000	16,434,360	△150,360	
	給食費支出	7,453,000	7,292,688	160,312	
施設整備等による収支	保健衛生費支出	273,000	247,874	25,126	
	保育材料費支出	998,000	1,103,441	△105,441	
	水道光熱費支出	4,522,000	4,526,238	△4,238	
	消耗器具備品費支出	1,902,000	2,032,022	△130,022	
	保険料支出	220,000	235,725	△15,725	
	賃借料支出	904,000	975,842	△71,842	
	雑支出	12,000	20,530	△8,530	
	事務費支出	5,885,000	6,255,319	△370,319	
	福利厚生費支出	357,000	467,432	△110,432	
	旅費交通費支出	59,000	162,206	△103,206	
その他の活動による収支	研修研究費支出	314,000	312,020	1,980	
	事務消耗品費支出	206,000	217,758	△11,758	
	印刷製本費支出	185,000	207,605	△22,605	
	修繕費支出	632,000	632,234	△234	
	通信運搬費支出	487,000	528,438	△41,438	
	会議費支出	19,000	19,000	0	
	業務委託費支出	2,285,000	2,312,220	△27,220	
	手数料支出	673,000	694,484	△21,484	
	土地・建物賃借料支出	168,000	167,824	176	
	租税公課支出	191,000	190,910	90	
予備費支出	保守料支出	137,000	180,988	△43,988	
	雑支出	172,000	162,200	9,800	
	その他の支出	959,000	982,880	△23,880	
	利用者等外給食費支出	959,000	982,880	△23,880	
	事業活動支出計(2)	127,025,000	128,681,508	△1,656,508	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,935,000	△555,222	3,490,222	
	施設整備等補助金収入	2,157,000	1,814,000	343,000	
	施設整備等補助金収入	2,157,000	1,814,000	343,000	
	施設整備等収入計(4)	2,157,000	1,814,000	343,000	
	固定資産取得支出	8,380,000	8,380,416	△416	
その他の活動による収支	建物取得支出	1,741,000	1,741,300	△300	
	器具及び備品取得支出	6,267,000	6,266,700	300	
	ソフトウェア取得支出	372,000	372,416	△416	
	施設整備等支出計(5)	8,380,000	8,380,416	△416	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△6,223,000	△6,566,416	343,416	
	積立資産取崩収入	5,271,000	8,271,200	△3,000,200	人件費負担増による人件費取崩増
	退職給付引当資産取崩収入	271,000	271,200	△200	
	保育所施設・設備整備積立資産取崩収入	5,000,000	8,000,000	△3,000,000	見込み不足
	その他の活動による収入計(7)	5,271,000	8,271,200	△3,000,200	
	積立資産支出	1,749,000	2,099,750	△350,750	
その他の活動による収支	退職給付引当資産支出	1,749,000	2,099,750	△350,750	
	その他の活動支出計(8)	1,749,000	2,099,750	△350,750	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,522,000	6,171,450	△2,649,450	
	予備費支出(10)	0	—	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		234,000	△950,188	1,184,188	

前期末支払資金残高(12)	30,098,000	30,098,618	382
当期未支払資金残高(11)+(12)	30,333,000	29,148,430	1,184,570

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書
(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	保育事業収益	126,968,970	141,449,497	△14,480,527
	委託費収益	111,935,270	117,652,520	△5,717,250
	利用者等利用料収益	119,744	125,700	△5,956
	その他の事業収益	14,913,956	23,671,277	△8,757,321
	経常経費寄附金収益	84,000	142,320	△58,320
	経常経費寄附金収益	84,000	142,320	△58,320
	サービス活動収益計(1)	127,052,970	141,591,817	△14,538,847
サービス活動増減の部	人件費	107,270,499	111,639,575	△4,369,076
	職員給料	47,131,176	52,763,874	△5,632,698
	職員賞与	14,321,124	14,400,110	△78,986
	賞与引当金繰入	4,313,000	3,880,000	433,000
	非常勤職員給与	24,759,886	23,171,620	1,588,266
	退職給付費用	3,034,250	3,226,520	△192,270
	法定福利費	13,711,063	14,197,451	△486,388
	事業費	16,434,360	16,177,008	257,352
	給食費	7,292,688	7,017,012	275,676
	保健衛生費	247,874	641,193	△393,319
	保育材料費	1,103,441	1,243,712	△140,271
	水道光熱費	4,526,238	4,778,946	△252,708
	消耗器具備品費	2,032,022	1,275,036	756,986
	保険料	235,725	244,270	△8,545
	賃借料	975,842	961,229	14,613
	雑費	20,530	15,610	4,920
	事務費	6,255,319	6,262,095	△6,776
	福利厚生費	467,432	509,820	△42,388
	旅費交通費	162,206	45,320	116,886
	研修研究費	312,020	31,568	280,452
	事務消耗品費	217,758	159,816	57,942
	印刷製本費	207,605	316,836	△109,231
	修繕費	632,234	723,730	△91,496
	通信運搬費	528,438	505,064	23,374
	会議費	19,000	10,000	9,000
	業務委託費	2,312,220	2,605,970	△293,750
	手数料	694,484	739,867	△45,383
	土地・建物賃借料	167,824	167,824	0
	租税公課	190,910	186,132	4,778
	保守料	180,988	61,600	119,388
	雑費	162,200	198,548	△36,348
	減価償却費	1,089,463	652,902	436,561
	減価償却費	1,089,463	652,902	436,561
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△319,763	△29,452	△290,311
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△319,763	△29,452	△290,311
	徴収不能額	0	1,760	△1,760
	徴収不能額	0	1,760	△1,760
	サービス活動費用計(2)	130,729,878	134,703,888	△3,974,010
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,676,908	6,887,929	△10,564,837
サービス	受取利息配当金収益	436	377	59
	受取利息配当金収益	436	377	59
	その他のサービス活動外収益	1,072,880	1,097,480	△24,600
	受入研修費収益	90,000	64,000	26,000

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
活動外増減の部	利用者等外給食収益	982,880	1,033,480	△50,600
	サービス活動外収益計(4)	1,073,316	1,097,857	△24,541
	その他のサービス活動外費用	982,880	1,033,480	△50,600
	利用者等外給食費	982,880	1,033,480	△50,600
	サービス活動外費用計(5)	982,880	1,033,480	△50,600
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	90,436	64,377	26,059
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△3,586,472	6,952,306	△10,538,778
特別増減の部	施設整備等補助金収益	1,814,000	0	1,814,000
	施設整備等補助金収益	1,814,000	0	1,814,000
	その他の特別収益	0	167,824	△167,824
	過年度修正額(収益)	0	167,824	△167,824
	特別収益計(8)	1,814,000	167,824	1,646,176
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,814,000	0	1,814,000
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,814,000	0	1,814,000
	拠点区分間繰入金費用	0	43,000	△43,000
	拠点区分間繰入金費用	0	43,000	△43,000
	その他の特別損失	0	350	△350
過年度修正額(損失)		0	350	△350
特別費用計(9)		1,814,000	43,350	1,770,650
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	124,474	△124,474
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△3,586,472	7,076,780	△10,663,252
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	28,892,336	21,815,556	7,076,780
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	25,305,864	28,892,336	△3,586,472
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	8,000,000	0	8,000,000
	保育所施設・設備整備積立金取崩額	8,000,000	0	8,000,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	33,305,864	28,892,336	4,413,528

第三号第四様式（第二十七条第四項関係）

(单位：田)

資産の部		負債の部	
	当年度末	前年度末	増減
流动資産			
現金預金	35,453,460	33,488,004	1,965,456
事業未収金	29,271,713	24,757,591	4,514,122
未収金	5,780,532	8,481,073	△2,700,541
貯蔵品	160,588	74,880	85,708
前払金	174,460	174,460	0
前払費用	8,547	0	8,547
固定資産	45,810,089	44,894,436	57,620
その他の固定資産	45,810,089	44,894,436	915,653
建物	8,227,660	6,486,360	1,741,300
建物減価償却累計額△	6,098,629	5,949,854	148,775
構築物	3,947,400	3,947,400	0
構築物減価償却累計額△	2,401,335	2,006,595	394,740
車輌運搬具	544,080	544,080	0
車輌運搬具減価償却累計額△	544,076	544,076	0
器具及び備品	9,275,404	3,008,704	6,266,700
器具及び備品減価償却累計額△	3,237,693	2,736,213	501,480
ソフトウェア	327,948	0	327,948
保育所繰越積立資産	10,000,000	10,000,000	0
保育所施設・設備端積立資産	4,500,000	12,500,000	△8,000,000
退職給付引当資産	21,269,330	19,644,630	1,624,700
資産の部合計	81,263,549	78,382,440	2,881,109
純資産の部合計	49,376,189	51,468,424	△2,092,235
負債及び純資産の部合計	81,263,549	78,382,440	2,881,109